

令和7年度国有林野事業に関する アンケート調査レポート

国有林の役割や業務について理解を深めていただくとともに、国民の皆様のご意見等を国有林の管理経営に役立てていくため、令和7年7月～令和8年2月、九州・沖縄にお住いの皆様を対象に、国有林野事業に関するアンケートを行いました。御協力ありがとうございました。

林野庁 九州森林管理局

お問合せ先

総務企画部 企画調整課 林政推進係

TEL：096-328-3642



国民の森林・国有林



国民の森林・国有林

目次

調査概要	P3～
回答者プロフィール	P6～
詳細編	P8～



国民の森林・国有林

調査概要



調査目的	現状の資料の分かりやすさや、林野庁・九州森林管理局の認知状況を把握し、今後の活動に活かすことを目的とする。
調査課題	✓ 現状の資料が理解のしやすい内容になっているか ✓ 林野庁・九州森林管理局の認知
調査手法	九州森林管理局HP上でアンケート調査
対象者条件	【性別】 男女 【年齢】 18歳～69歳 【地域】 九州・沖縄に居住している者 【その他条件】（国会議員、地方議員、地方公共団体の長、国家公務員は対象外）
回収数	本調査：42サンプル（うち6件は対象者条件外）
調査期間	2025年7月2日(水) ～ 2026年2月28日(土)



フェース質問		
F 1	S A	性別
F 2	N A	年齢
F 3	S A	居住地域
F 4	M A	就業

本調査		
Q 1	S A	林野庁の認知度
Q 2	S A	九州森林管理局の認知度
Q 3	S A	国有林の認知度
Q 4	M A	知っている森林の機能
Q 5	S A	一番期待する森林の機能
Q 6	S A	一番期待している森づくり
Q 7	S A	水源かん養タイプの取組が維持・増進を図っていることの認知
Q 8	S A	人工林を若返らせることで、CO ₂ の吸収量が維持・増進されることの認知
Q 9	S A	伐採後に製品となった木材の使用によりCO ₂ を固定できることの認知
Q 10	F A	「九州森林管理局の紹介」に興味を持った部分、知らなかったこと

SA(シングルアンサー)：単一回答、MA(マルチアンサー)：複数回答 FA(フリーアンサー)：自由回答

※NA：数値回答 ※MT：マトリクス(表組)



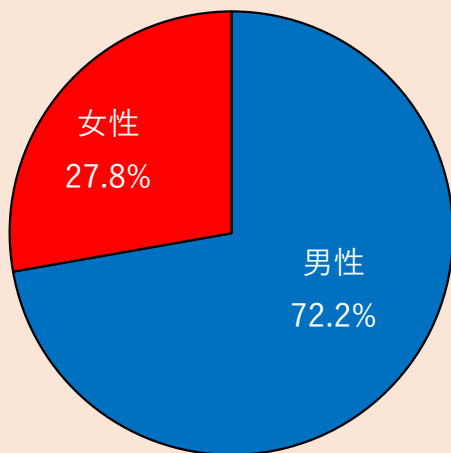
国民の森林・国有林

回答者 プロフィール

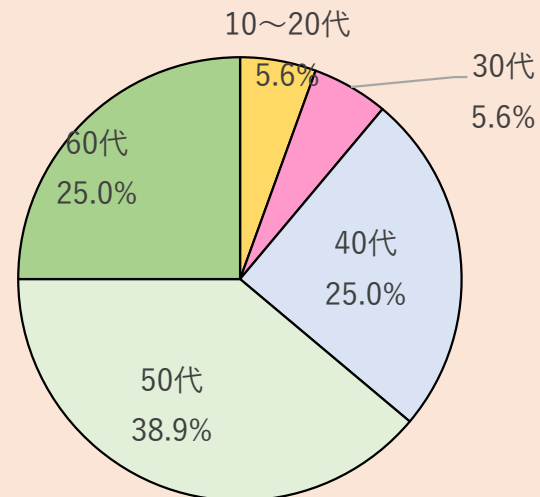
※本調査データ



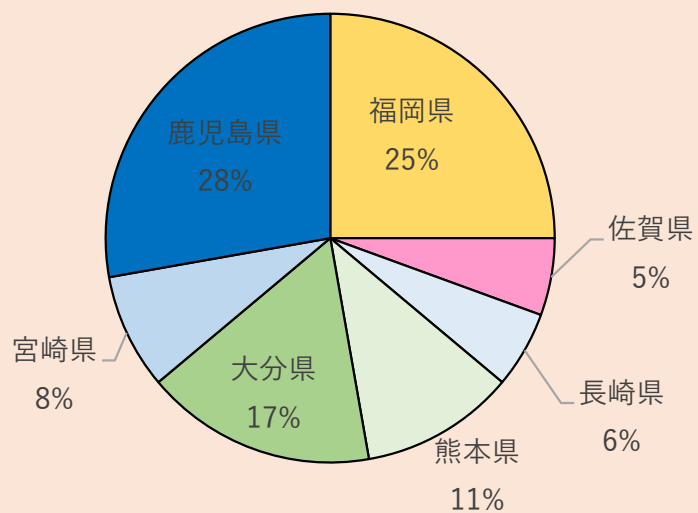
性別(n=36)



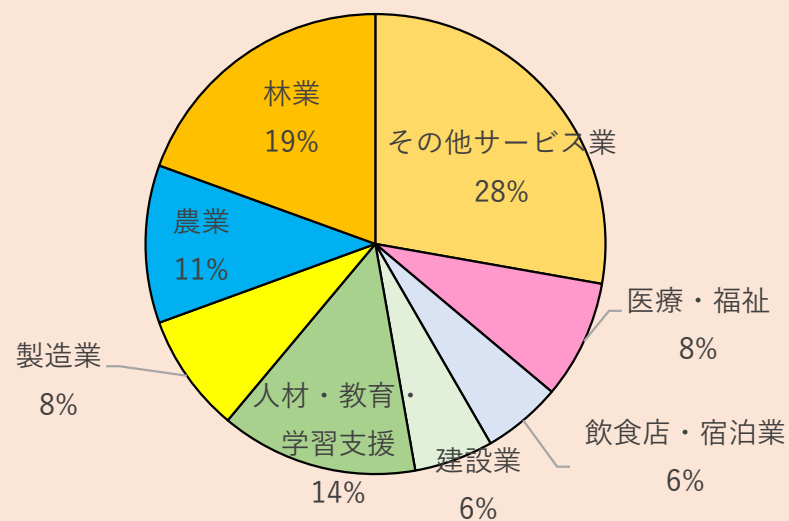
年代(n=36)



居住地域別(n=36)



職業別(n=36)





国民の森林・国有林

詳細編 本調査

※本調査データ

林野庁・九州森林管理局・国有林の認知度

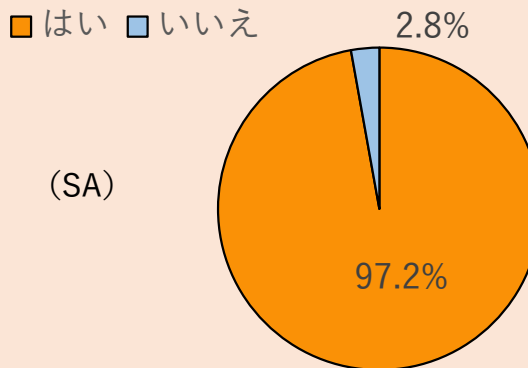


国民の森林・国有林

- 林野庁の認知率は97.2%である。
- 九州森林管理局の認知率は94.4%である。
- 国有林の認知率は100%である。

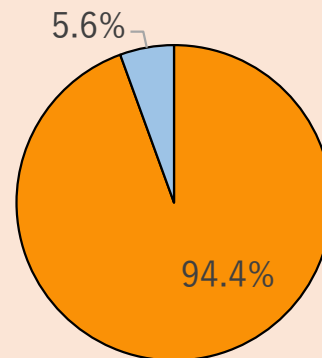
Q1 あなたは、林野庁を知っていましたか。

※以下の画像を確認してからお答えください。 (SA)



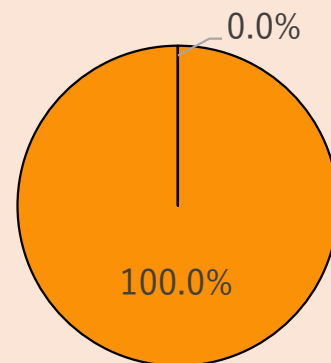
Q2 あなたは、九州森林管理局を知っていましたか。

※以下の画像を確認してからお答えください。 (SA)



Q3 あなたは、国有林を知っていましたか。

※以下の画像を確認してからお答えください。 (SA)



森林にかかわる省庁：林野庁

- 国の機関で元気な森林をつつているのは林野庁
- 林野庁は森林を通じてサービスを提供。森林整備や林業、木材産業の活性化に貢献

● 林野庁の役割

森林整備の推進	林業や木材産業の活性化
快適な生活環境 美しい景観の維持・創造	山村の主要な産業である 林業を盛り上げ、地域を元気に

どういった組織なのか？

- 九州森林管理局は林野庁に属する（林野庁は農林水産省の外局の一つ）
- 森林管理局は全国に7つあり、九州森林管理局はそのひとつ

農林水産省

- 林野庁は農林水産省の外局の一つ
本庁と森林管理局等に大きく分けられる

九州内の組織

林野庁本庁	森林管理局	森林管理署等	森林事務所
政策の企画立案 日本全体の森林林業を考える	国有林の管理経営	地方ごとの国有林管理の方針決定	方針に基づき管理経営業務の実行

国有林とは？

- 国が所有している森林のことを国有林という
- 全国の森林面積のうち、国有林は約3割
- 九州だと森林面積のうち、国有林は約2割

国土面積と森林面積の対比

項目	面積 (ha)	割合 (%)
国土面積	377,922	100%
森林面積	117,000	31%
国有林面積	33,530	29%

九州に占める国有林の割合

項目	面積 (ha)	割合 (%)
九州の森林面積	14,074	100%
九州の国有林面積	2,277	16%

知っている森林の機能

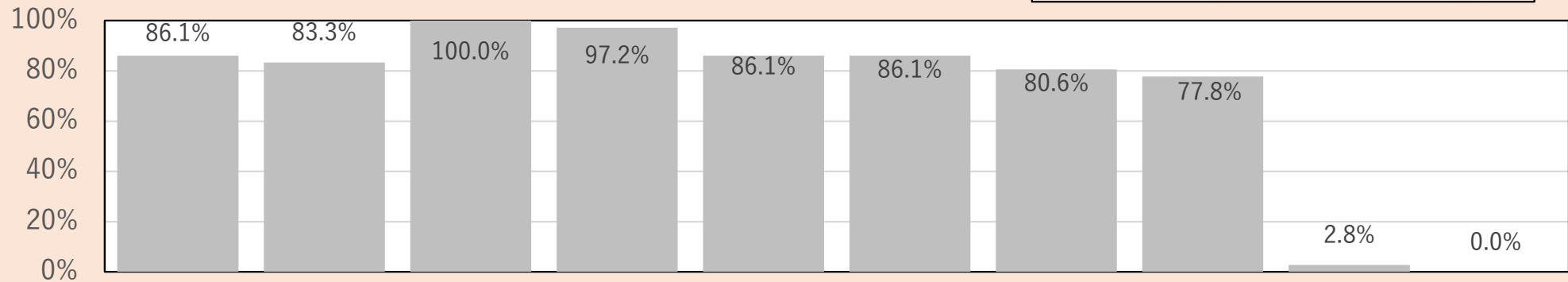


国民の森林・国有林

- 知っている森林の機能について最も高いのは、「3.山崩れ、洪水などの災害を防止する山地災害防止・土壌保全機能」(100.0%)である。次いで「4.水資源を蓄えたり、水質を改善する水源かん養機能」(97.2%)、「1.心身の癒しや安らぎの場をもたらす保健・レクリエーション機能」、「5.二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化を緩和する地球環境保全機能」、「6.住宅資材や紙の原料となる木材やきのこ、山菜等を生産する木材等生産機能」(各86.1%)と続く。

Q4 あなたがすでに知っている森林の機能についてすべての番号を選択してください。

※以下の画像を確認してからお答えください。(MA)



	n	1.心身の癒しや安らぎの場をもたらす保健・レクリエーション機能	2.貴重な野生動植物の生息・生育の場である生物多様性保全機能	3.山崩れ、洪水などの災害を防止する山地災害防止・土壌保全機能	4.水資源を蓄えたり、水質を改善する水源かん養機能	5.二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化を緩和する地球環境保全機能	6.住宅資材や紙の原料となる木材やきのこ、山菜等を生産する木材等生産機能	7.夏の気温低下、冬の気温上昇、木陰・大気浄化、騒音防止などをもたらす快適環境形成機能	8.景観、学習・教育、芸術、伝統文化、地域の多様性維持などを指す文化機能	その他	知っているものはない	
全体	36	86.1%	83.3%	100.0%	97.2%	86.1%	86.1%	80.6%	77.8%	2.8%	0.0%	
性別	男性	26	80.8%	76.9%	100.0%	96.2%	84.6%	84.6%	76.9%	69.2%	3.8%	0.0%
	女性	10	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	90.0%	90.0%	90.0%	100.0%	0.0%	0.0%

一番期待する森林の機能

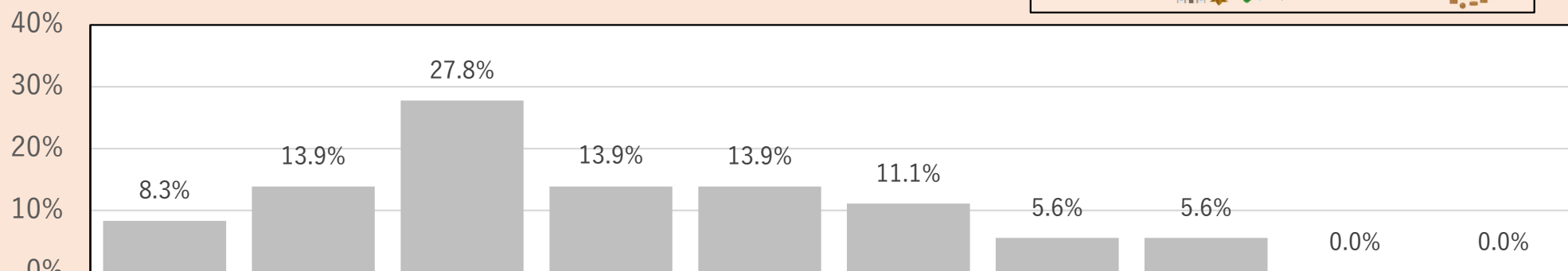
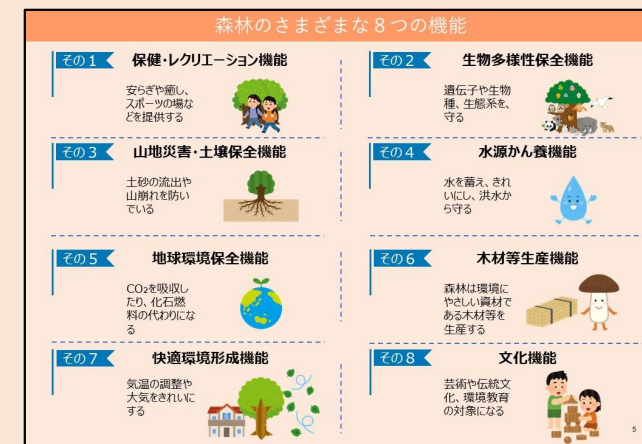


国民の森林・国有林

- 一番期待する森林の機能について最も高いのは、「3.山崩れ、洪水などの災害を防止する山地災害防止・土壌保全機能」(27.8%)である。次いで「2.貴重な野生動植物の生息・生育の場である生物多様性保全機能」、 「4.水資源を蓄えたり、水質を改善する水源かん養機能」、 「5.二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化を緩和する地球環境保全機能」(各13.9%)、「6.住宅資材や紙の原料となる木材やきのこ、山菜等を生産する木材等生産機能」(11.1%)と続く。

Q5 あなたは、森林のさまざまな機能の中で何に一番期待しますか。

あてはまるものを一つ選択してください。(SA)



	n	1.心身の癒しや安らぎの場をもたらす保健・レクリエーション機能	2.貴重な野生動植物の生息・生育の場である生物多様性保全機能	3.山崩れ、洪水などの災害を防止する山地災害防止・土壌保全機能	4.水資源を蓄えたり、水質を改善する水源かん養機能	5.二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化を緩和する地球環境保全機能	6.住宅資材や紙の原料となる木材やきのこ、山菜等を生産する木材等生産機能	7.夏の気温低下、冬の気温上昇、木陰・大気浄化、騒音防止などをもたらす快適環境形成機能	8.景観、学習・教育、芸術、伝統文化、地域の多様性維持などを指す文化機能	その他	特にない	
全体	36	8.3%	13.9%	27.8%	13.9%	13.9%	11.1%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	
性別	男性	26	11.5%	7.7%	30.8%	19.2%	7.7%	15.4%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%
	女性	10	0.0%	30.0%	20.0%	0.0%	30.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%

一番期待している森づくり

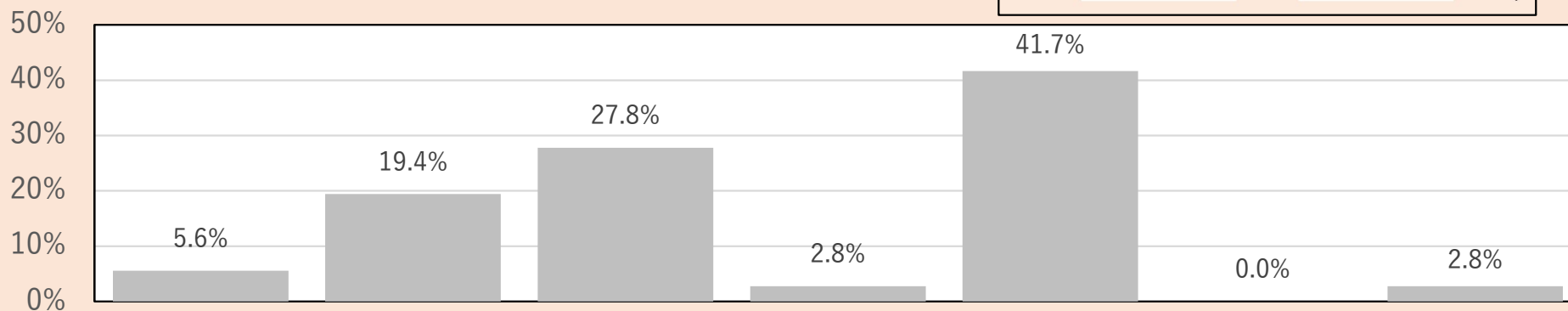


国民の森林・国有林

- 一番期待している森づくりについて最も高いのは、「水源かん養タイプ(水を蓄え、きれいにする国有林)」(41.7%)である。次いで「山地災害防止タイプ【土砂流出・崩壊防備エリア】(土砂の流出、崩壊から被害を守る国有林)」(27.8%)、「自然維持タイプ(森林生態系や希少な生物の生育・生息する森林を保全する国有林)」(19.4%)、「森林空間利用タイプ(保健、レクリエーション、文化機能を発揮する国有林)」(5.6%)、「山地災害防止タイプ【気象害防備エリア】(風害、飛砂、潮害から住居や環境の悪化を防ぐ国有林)」(2.8%)と続く。

Q6 九州森林管理局における重視すべき森づくりの考え方について、以下の画像にまとめております。あなたは、以下の画像の九州森林管理局における森林タイプ別のうち、どの森づくりに一番期待していますか。あてはまるものを一つ選択してください。

※以下の画像を確認してからお答えください。 (SA)



		n=	森林空間利用タイプ (保健、レクリエーション、文化機能を発揮する国有林)	自然維持タイプ (森林生態系や希少な生物の生育・生息する森林を保全する国有林)	山地災害防止タイプ【土砂流出・崩壊防備エリア】 (土砂の流出、崩壊から被害を守る国有林)	山地災害防止タイプ【気象害防備エリア】 (風害、飛砂、潮害から住居や環境の悪化を防ぐ国有林)	水源かん養タイプ (水を蓄え、きれいにする国有林)	わからない	特にない
全体		36	5.6%	19.4%	27.8%	2.8%	41.7%	0.0%	2.8%
性別	男性	26	7.7%	11.5%	26.9%	0.0%	50.0%	0.0%	3.8%
	女性	10	0.0%	40.0%	30.0%	10.0%	20.0%	0.0%	0.0%

森づくりの取組に関する認知

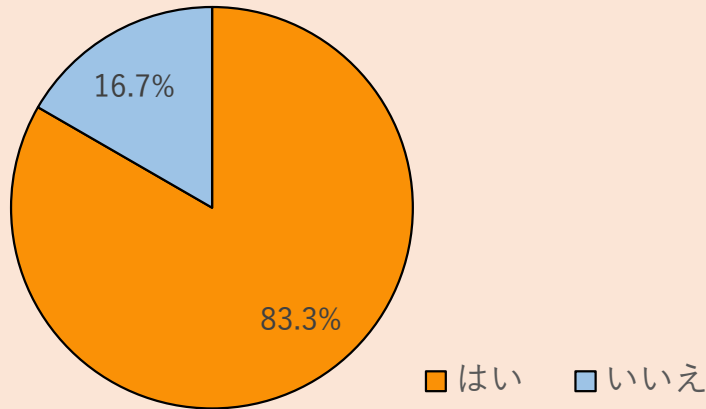


国民の森林・国有林

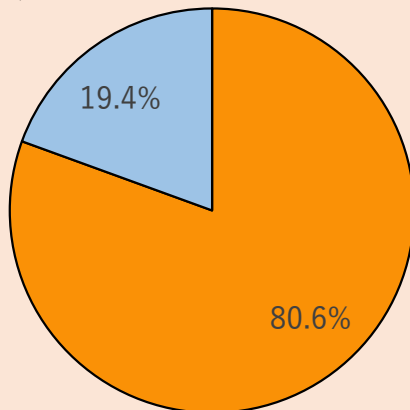
- 水源かん養タイプの取組が維持・増進を図っていることの認知率は83.3%である。
- 人工林を若返らせることで、CO₂の吸収量が維持・増進されることの認知率は80.6%である。
- 伐採後に製品となった木材の使用によりCO₂を固定できることの認知率は77.8%である。

Q7 あなたは、水源かん養タイプの取組が、伐採や植栽を行い、水源かん養機能の維持・増進を図っていることを知っていましたか。

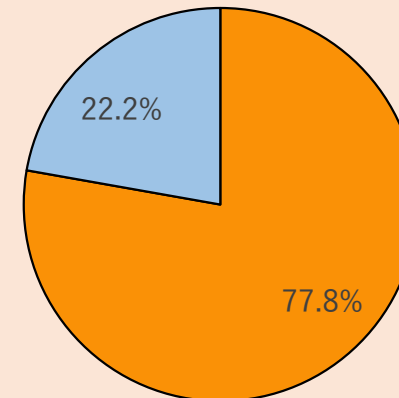
※以下の画像を確認してからお答えください。 (SA)



Q8 あなたは、人工林を若返らせる(伐採し、植える)ことで、CO₂の吸収量(地球温暖化対策)が維持・増進されることを知っていましたか。 (SA)



Q9 あなたは、伐採後に製品となった木材を家や家具等に使用することにより、CO₂を固定できること(地球温暖化対策に寄与できること)を知っていましたか。 (SA)



「九州森林管理局からの紹介を見て思ったこと」の自由記述回答の内容



国民の森林・国有林

- ・今回のアンケートを通して、「大切な取組だと評価」「資料が分かり易く興味深い」「知らなかったことを学んだ」と肯定的な回答をしている方が多く見られた。
- ・一方、活動の重要性を感じているために、「もっと広報・情報発信が必要」という意見、近年の大雨災害の頻発により、「災害防止の役割に期待」という意見も多く見られた。
- ・九州森林管理局の活動については認知者が多数派となっている。これは、今回のアンケートを森林管理局HP上で行ったためと考えられる。今後は不特定多数の者がアンケートに参加できるように配慮する必要がある。

Q10. 「九州森林管理局のご紹介」を見てどう思われましたか。

<主要意見の件数表>

	件数
・ もっと広報・情報発信が必要	5
・ 大切な取組だと評価	5
・ 資料が分かり易く興味深い	4
・ 災害防止の役割に期待	4
・ 知らなかったことを学んだ	4
・ 多岐にわたる活動への期待	3
・ 森林の適切な管理に期待	3
・ 花粉対策への期待	3
・ もっと詳しく知りたい	3
・ 森林の重要性を認識	2
・ 国有林モニターの再開を希望	2
・ CO2固定機能に興味	2
・ 木材利用の重要性を認識	2
・ 人工林から天然林への転換	1
・ 水資源保全の重要性を認識	1
・ 環境保全への貢献を評価	1
・ 地球温暖化対策への期待	1
・ 労働災害の撲滅	1
・ 林業の担い手不足を懸念	1

【自由記述回答の抜粋】

<もっと広報・情報発信が必要>

- ・各地の山々に伝わるその土地ごとに伝わる伝承などの発信があればよいと思います。
- ・一般の人に九州森林管理局の紹介をしていくことはいいことだと思いました。もっとメディアなどで林野庁、森林管理局、林業、国産材をPRしてほしいです。
- ・山林の保全についてももっともっと国民に広く、伝わることを期待しています。

<大切な取組だと評価>

- ・あまり世間の耳目を集めない地味にも見える仕事だが、とても大事な部分を担っている。
- ・森林が日常生活に果たす役割について、改めて大切さを知らされた。
- ・森を維持、管理することの肝要さを改めて知ることができました。

<資料が分かり易く興味深い>

- ・とても分かりやすいと思いました。
- ・おもしろいです。勉強にもなります。
- ・簡潔でわかりやすかったです。字も大きく写真もキレイで伝えたいことがスッと頭に入ってきました。

<災害防止の役割に期待>

- ・近年の災害で、いろんな社会資本が傷んでいるが、大切に守っていかなければならない。
- ・いつも私たちの生活を守ってくださりありがとうございます。

<知らなかったことを学んだ>

- ・知らないことばかりで勉強になりました。
- ・今まで知らなかった国有林の割合や役割及び役割の維持を学ぶことができた。



THANK
YOU



国民の森林・国有林